

2023年度 第1回 日産京都自動車大学校教育課程編成委員会 会議報告書

1.開催日時 2023年7月 20日(木) 13:00－16:00

2.開催場所 日産京都自動車大学校

3.出席者

(自動車整備領域)	団体代表	乗地 博之 様	京都府自動車整備振興会 教育課 課長(一級工学科、自動車整備科兼任)
	(学校外委員) 企業代表	秋山 浩志 様	兵庫日産自動車株式会社 執行役員 (一級工学科担当)
	企業代表	平松 由揮 様	滋賀日産自動車株式会社 栗東店 副店長 (自動車整備科担当)
(車体整備領域)	団体代表	坂田 博則 様	京都府自動車車体整備協同組合 事務局長(ボディリペア科、カスタマイズ科兼任)
	(学校外委員) 企業代表	高橋 治彦 様	日産自動車株式会社 グローバルアフターセールス事業本部 (自動車整備・ボディリペア科担当)
	企業代表	中村 達也 様	京都サービス株式会社 吉祥院工場 工場長 (自動車整備・カスタマイズ科担当)
(学校内委員)	学校長	川嶋 則生	
	教頭	鳥井 英雄	
	課長	清水 昭一	教育部 自動車整備課・国際課
	課長	大村 哲嗣	教育部 一級課・車体課
	課長代理	佐藤 友彦	教育部 自動車課
	課長代理	井上 恵太	教育部 自動車課(国際科)
	課長代理	遠藤 博之	教育部 一級課
	統括	山瀬 匡隆	教育部 車体課
	課長代理	当麻 範嗣	教務課
	(オブザーバー) 学長	本廣 好枝	日産・自動車大学校 (オンライン参加)
	部長代理	玉生 久典	日産・自動車大学校 教育企画部 (オンライン参加)

4.議 題

- 1)挨拶
- 2)昨年度の活動計画
 - ・FY22 卒業生アンケート結果報告、国家試験の結果報告、各課程の取り組み
- 3)2022年度 2月委員会でのご意見に対しての取り組み状況
 - ・自主性・主体性の育成度合いの見える化について
 - ・多機能化(先進運転支援システム)への対応
- 4)今年度の取り組みについて
 - ・国際オートメカニク科について
 - ・実習授業の充実
 - ローテーションの変更(整備科)
 - 教科担当 2名制 (BR科)
 - 卒業研究の充実 (一級科)
 - ・カスタマイズ科 出展車両の製作状況
- 5)意見交換

5.議 論

- 1)結 論
- 2)意見交換と質疑応答 今回の教育課程編成委員会にて、議題について委員からご意見をいただくことができた。
いただいたご意見をよく検討し、次年度の授業内容、教育方法などに織り込みながら教育の質の向上を図っていく。

種別		項目	所属	質問者	主な意見
2)	—	卒業生アンケートについて	日産自動車	高橋様	BPの新型車研修でも「コンサルト」を使用することが増えてきており、今後の教育内容に取り入れて習熟できるように検討してほしい。
			滋賀日産 兵庫日産	平松様 秋山様	TS1年生の作業の仕方に問題があるのではないか。 2年目以降で「データモニターの使用」、故障診断は5年目以降で実施させている。 ➡ 兵庫日産では、OBDへの対応のため「自己診断ができる」でOKとしている。
			日産自動車	高橋様	EPCの使用について、教えてほしい。
			滋賀日産	平松様	特定整備記録簿の書き方を教えてほしい。
			整備振興会	乗地様	分解整備記録簿と特定整備記録簿では、若干記載内容が変更されているので注意してほしい。
			学 内		新型車へのコンサルト対応は厳しい(学校の置かれている環境)。 基本操作はOKとしたい。 EPCは、専用PCを準備して実施しているが、あまり使用されていない。今後は、使用する機会を増やしていく。 アンケートの質問内容を教育横断会議で検討する。 ・故障部位の決定 ➡ 範囲が広くなり、回答しづらい。 ・販売会社「ここまでやってきて欲しい」等のヒヤリングが必要と考える。 ・取り組みレベルが理解できる質問内容に変更することも必要と考える。
2)	—	多機能化(先進運転支援システム)への対応	整備振興会	乗地様	会員工場に入庫するのは5年後くらいになるので、紹介程度。 年1回の技術講習で実施している。
			滋賀日産	平松様	Youtube(限定公開)でADAS関連の動画が掲載されているので、それを見せて勉強させるのも良いのではないか。
			車体協同組合	坂田様	当たらない車が増える ➡ 仕事が減少する。 高齢化 ➡ 廃業する整備工場が増える。
			学 内		お聞きした意見を尊重して検討する。
2)	—	自主性・主体性の育成度合いの見える化について	整備振興会	乗地様	アクションシート(可視化)は良い。数値だけでは欠点が理解できない。
			日産自動車	高橋様	ルーブリック表は自己採点させている → ①の評価は、モチベーションが下がるのでつけない。
			学 内		実習ごとにルーブリック評価をつければ、いろんな面で活用できるのではないか。 目線を下げてみる ➡ いろんな世代の人に接することが必要 ➡ 同世代以外は不快に思わせる言動があると理解させることも重要。 ➡ ルーブリック表に記載してある内容の真の意味の理解が必要。
4)	—	今年度の取り組み (入学者 募集状況について)	日産自動車	高橋様	留学生のOC参加者は、熱望しているのか。
			車体協同組合	坂田様	レストア・カスタム ➡ 京都の山奥(福知山、綾部など)に人が集まっている。 ☆ 技術力の高さをアピールすることで、募集につながらないか。 知識の多い子が増えている ➡ 試験には合格するが、指示待ちの要因ではないか。 知恵のある子が減っている ➡ モノ作りには知恵が必要